

令和6年3月1日

No.583



発行人 森田 信司 編集人 向井 秋久

大阪市中央区中寺1丁目1-54

TEL.06-6762-9001

FAX.06-6768-2426

http://www.niji-tumi.net/

保育おおさか

大阪府社会福祉協議会・保育部会(大阪府保育協議会)



ひなまつり

寝屋川市
認定こども園
石津保育園

令和6年 新年互礼会を開催

スマサポ148人に府知事認定証を交付

1月22日、シエラトン都ホテル大阪で保育部会新年互礼会が開催され、会員施設から123人が参加しました。
来賓として、衆議院議員浦野靖人氏、大阪府議会議長久谷眞敬氏のほか、大阪府、堺市・中核政令市の担当行政の方々にもご出席いただきました。
冒頭で森田信司部会長は「1月1日、能登半島地震で被災された全ての方々にお見舞い申し上げます。1日も早い復興を祈るとともに、被災地で支援に携わられている方々に感謝申し上げます。また、保育三団体被災地支援募金活動を通じ



て、支援のご協力をお願いしたい」とあいさつしました。

続いて「地域貢献支援員(スマイルサポーター)」の大阪府知事認定証交付式が行われました。今年度、認定された148人には、大阪府福本泰延子ども家庭局長より認定証が手交され、認定者を代表して幼保連携型認定こども園・さつきこども園(池田市)の林田美唯さんが受領されました。

また、3年ぶりに実施された保育海外研修の活動報告について、認定こども園こどものいえ(八尾市)の村井慶二団長から報告がありました。

懇親会では、会員施設間で新年を祝いながら意見交換が行われ、盛会のうちに幕を閉じました。(事務局)



スマサポ代表受領の林田さん

トルコ共和国の 教育制度や文化を学ぶ

前編

3年ぶりの保育海外研修は、トルコ共和国（イスタンブール）で開催されました。67人の方が参加し、トルコ共和国の教育施設や文化を学びました。

トルコ共和国は、ヨーロッパ、中東・中央アジアと接する場所に位置し、周辺諸国の影響を受けながら発展してきました。日本の約2倍の面積の国土に約8,400万人が暮らし、その半数以上が34歳以下です。

視察先 1

セブギユマグキンダーガーデン

そのため、国家経済力向上の観点から若い力の活用や役割が重要視され、教育制度の整備にも力を入れていきます。義務教育期間は4〜4〜4制の12年間、6〜10歳、10〜14歳、14〜17歳の3つに分かれています。

今回は、イスタンブールアタシエヒル地区にある私立のセブギユマグキンダーガーデンとチルドレンセンターの2園（姉妹園）を訪ねました。

アタシエヒル地区は、人口約42万人の大きな町で、セブギユマグキンダーガーデンは、高層住宅ビルなどが建ち並ぶ住宅街の中にあります。小・中学校を併設し、3階建てのカラフルなデザインの園舎が目をひきます。訪問時、保護者と園児が登園

カラフルで綺麗な園舎のようす

する、日本と変わらぬ光景を見ることができました。

園舎にお邪魔すると、園児たちが「こんにちは！」「いらっしゃいませー」というメッセージ入りフラッグと笑顔で出迎えてくれました。

園全体と一緒に学ぶ体験を大切にされていました。園長のアイセ・エルダール先生は園の理念について「①子どもたちが園で過ごす時間を楽しんで幸せを感じてほしい②知識を暗記させるのではなく、自分で体験して覚えてほしい③子どもたちにはそれぞれの才能があるので競争はさせない④小さい頃のアート体験を大切に考え、芸術



メッセージ入りフラッグと笑顔で出迎えてくれた園児たち



イスタンブールでの集合写真

を基に保育を行う⑤成功したことは自分で理解してほしいのご褒美はあげない」と話されました。この理念に、将来の姿を見据えて子どもに接する園長の熱い思いを感じました。

最後に、日本の子どもたちが折り紙で作った大きな千羽鶴をプレゼント。アイセ・エルダール先生から「この仕事は一番たいへんかつ大切な仕事です。日本の子どもたちや保育に携わる方々の平和を一番に祈っています」と優しいメッセージをいただきました。

（次号に続く）

（編集委員 M・T）



東大阪市の近鉄小阪駅周辺では、この季節になると「菜の花」でいっぱいになる。歴史作家で有名な司馬遼太郎さんが、生前中にお好きだった花である。

2月12日は遼太郎さんのご命日。この日に町中を菜の花で飾る運動が続いている。司馬遼太郎記念館がこだわって作った種を10月に地域の方々は無償で配り、皆さん銘々にプランターなどで育てられる。ポラントニアの皆さんがお世話された花はとも美しく、この季節は多くの方が訪れる。菜の花をプランターで育てるのはコツがある。プランターを大きめにする、肥料をたくさん与えるなど、皆さんそれぞれにオリジナルの育て方があり、いろいろと研究されている。

菜の花の季節は出会いと旅立ちの季節。街中で咲く菜の花を皆さんはどんな気持ちで見ているだろう。来年度は、いいことがたくさんありますように。

（編集委員 K・M）

みんなが主役！
明るく楽しくなる
保育現場の秘訣！



ほめ育シニアコンサルタント
中園 暁子氏

⑪ 保育は人と人 「育てる学ぶためのコツとは」

東京都福祉保健局の「東京都保育士実態調査報告書」（令和4年）によると、保育士を辞めた理由は「職場の人間関係」が3割強（31.5%）と最も多く、次いで「仕事量が多い」（23.1%）、「給料が安い」（22.1%）という結果でした。「人と人」はどうあるべきなのでしょう。

◆「育てる」「ほめる」 難しさ

サボテンすら枯らしたことがある私は、家族に一観葉植物を買うのをもうやめたら？」と諫められたことがあります。どうやら陽が当たり過ぎ、水をやり過ぎていたらしいのです。当時の私は、水をやるのが悪いことだと考えもせず、良かれと思ってせっせと水やりをしていました。

植物も人材も「育てる」という点で、私のなかには共通する教訓があります。「相手にあったやり方をしているのか」「自分の思い（良かれだけでやっていないか）」「そして「育てるには時間がかかる」です。「今まで」のやり方が新しい相手

にあっているとは限らない。前回の成功が今回通用するかはわからない。結果に対して焦りはないか。一度そう問いただすことが大切だと思います。そして、難題にも思える人材育成の突破口は、やはり「ほめる」にあると感じています。

◆「育てる」「ほめる」 人

人を育てるときに「ほめる」ことにはどれほどの効果があるのでしょうか。ある研究では、人はほめられてドーパミンが分泌され気分が良くなると、その快感を再び得ようと自然と「やる気」になることが明らかになっています。

「ほめる」ポイントは、まず具体的であること。例えば、毎日「おつかれさん。今日もがんばってるね！」と言われた場合と、「さっきのあなたの保護者対応を見たよ。言いたいこともあっただろうに、相手の話をちゃんと聞いて、笑顔で対応していたね。お母さんも笑顔で帰ったし、信頼してくれていると思う。本当にありがとう」と面と向かって言ってもらった場合を想像

してください。ほめられてどちらがうれしいか、その違いは明らかだと思います。何が良かったのか具体的にであればあるほど、言葉に説得力が増し、「しっかり見ていてくれた」という安心や信頼につながります。また本人の自信になり、次の行動へとつながります。

◆何をほめるか

「何をほめるか」も大切な要素です。「結果をほめることも時には必要ですが、結果が伴わなければほめられないのであれば、「結果重視」の風潮のもとになります。

一方、挑戦や努力をした「姿勢」「過程」をほめることは「失敗しても大丈夫」というメッセージにもなり、「過程」をほめられた本人は失敗を恐れず、次のチャレンジに向かうことができま

す。植物も人も、育つには時間がかかります。一つひとつ、ゆっくり見守りたいところです。

◆「学び」「コツ」は??

以前の私は教えをどう相手を選んでいたので、上司

から「相手を選ぶ限り限界がある」「どんな相手からも学びがある」と教えられました。今はその意味がよくわかります。相手を選ぶと「幅」に限りがあるので、柔軟性がなくなるともいえます。相手を選ばず学ぶコツは、「謙虚さ」であり「リスペクト」です。相手の言葉を素直に聞くこと、そして年齢や立場などに関わらず相手への敬意を忘れないこと。これが「どんな相手からも学びがある」姿勢へとつながります。

◆どんな相手からも 学びがある

どんな相手からも学びがある、とあって相手を見てみると、さまざまなお話に気づきます。相手を笑顔にする言い方や言葉、絶対やってはいけない行動。その「気づき」が学びです。また、誰かと話をしたとき、他の意見を聞いて、考えて、試してみる。あるいは、気づきから対応を変えたり工夫したりして検討する。

結果に成否があっても、その一連の思考や行動があなたの「学び」となり「成

長」につながります。

私たちは、自分が生きていくために「誰か」または「何か」を悪者に仕立てあげて自分を守ろうとします。それが必要な場合があるかもしれませんが、毎回だと学びはありません。自らの成長のためには、「何かのせい」にすることから離れる強さが必要です。謙虚さをもち、何かのせいにならず、ほめられるのを待つのではなく、自分でエンジン

◆お互い「学び」 みんなで「育つ」

最後にお伝えしたいのは、「ほめる」のは年上や格上の人間の役割で、「育つ」は若い方の専売特許、と思わないでほしいということです。謙虚さとリスペクトをお互いにもつ。そうすると相手の良いところも見えてくるはずですし、学びの機会も自然と増えていきます。

地位も年齢も関係なし。お互いほめてお互い学んでみんなで育つ。そんな大人の集団がかっこいいと私は思います。

保育園・認定こども園をたずねて



枚方市

たくましく

生きる力を育む

川越保育園

保育園

会福祉法人明徳園の川越保育園は積尊寺団地に隣接した定員100人の保育園です。積尊寺団地に入り暫くいくと、子どもたちの元気な声が聞こえてきました。保育園の近くには織姫彦星の七夕伝説の由来とされる天の

川が流れており、バス停も近くにある。地域の温かみのある雰囲気の中にあります。



▲園庭はとても広く、遊具がいっぱい!!

施設が一番の特徴は大きな園庭とそこに置かれている遊具たちです。定員100人の施設ですが、園児全員が園庭に出てもそれぞれが十分に体を動かして遊ぶことができる広さがあり、遊具もさまざまなものが置かれています。一つよくだきほがらかに」を保育理念に、体育・絵画・サッカー・英語などさまざまな活動を取り入れられています。子どもたちが楽しんで遊ぶことを第一に、そこでの経験から生きる力を育む保育をされています。実際に活動を覗くと、同じ活動でもみんなが同じことをするのではなく、一人ひとりのもつ力にあわせて保育されており「がんばった」楽し

育室で炊きあげ、おにぎりにして食べることで、おいしさ喜びを味わいます。そして、お金の大切さを学び、社会で必要な力を身につけることを目的に、5歳児は地域のスーパーやピザ店などに買い物に行きま

古川要園長先生は「日々の子どもたちのようすを『よい子ネット』を通して保護者にお伝えできることを大変うれしく思っています。子どもたちが保育園でたくさん経験をしたい」と熱く語っておられました。(編集委員Y・I)

和泉市

生きる力を養う

教育・保育

和泉中央みのり園

幼保連携型認定こども園

2019年に開園した和泉中央みのり園は、泉北高速鉄道泉中央駅から徒歩15分程度の閑静な場所

また、子どもたちが身近に農業を体験できるよう、園庭には畑があります。さらに、徒歩約20分の場所には園が借りている広い農園があり、ジャガイモ・サツマイモ掘りやミカン狩りなどを体験できます。5歳児は田植えをし、秋には稲刈り・脱穀を経て保

温かい言葉をかけてもらった子どもたちは、自分が地域のなかで大切にされていることを実感します。それが、豊かな心の育ちにつながる

同園では、人とのつながり

また、子どもたちが身近に農業を体験できるよう、園庭には畑があります。さらに、徒歩約20分の場所には園が借りている広い農園があり、ジャガイモ・サツマイモ掘りやミカン狩りなどを体験できます。5歳児は田植えをし、秋には稲刈り・脱穀を経て保

豊かな心の育ちにつながる



▲育てた野菜や果物がたくさん！収穫が楽しみ！

がついていると園長先生は仰いました。(編集委員Y・M)

